

業界最先端！研磨作業のロボット化による医療機器部品等への取組みと業態転換計画

INTERVIEW

有限会社RK 代表取締役小林久芳さまにインタビューさせていただきました。



支援を依頼しようと思った経緯

同社は、平成15年に溶接・洗浄・研磨を一貫対応する金属製品の仕上げ専門企業である。磨きの街、燕市に多くいる磨き業者が一部の工程、少量しか対応できないことが多い中で、ロットのある顧客ニーズに応える生産体制を確立してきた。そんな同社がなぜ当社に依頼しようと思ったのか、その理由を教えてください。

「結局、小林さんしかいないでしょと思いました。当社は以前、別の土業の先生にもものづくり補助金を依頼していたんですが、結果は不採択だったんです。一方で、別の会社がかかっていて、なんで？と思っていたら、そこはシェアビジョンが支援していたんです。そこで、商社や銀行にもシェアビジョンという会社がどういう会社か聞いてみたら、シェアビジョンだったら大丈夫とみんなが言うんです。そこで、事業再構築補助金の支援は採択率の良いシェアビジョンにお願いしようと思いました。」

任せてみた感想ポイント

今まで別の土業の先生に任せていた補助金申請業務を、シェアビジョンに変えてみて、何が変わったのか。思い描いている事業計画は前倒しで進められているという。

「小林さんには、私の目指す会社のビジョンを語らせてもらい、そのビジョンの実現を応援する姿勢を示してくれたのが大きいですね。会社をどういう方向に持っていきたいのか。その本質を共有できているから、その実現に向けた事業計画の策定は、ぶれることなく、スムーズに進んでいけたのかと思います。」



高速遠心バレル／
機械が自動で回転して
研磨する



左／担当 小林
右／代表取締役
小林久芳さま



従来の研磨技術



＜導入のロボット研磨システム＞

ベルト研磨
リユーター研磨

バフ研磨

今後の期待

研磨業界では職人さんが高齢化で人数がどんどん減っている。磨きの町である燕のエリアで、磨きの技術を継承し、産業を発展させていくのが課題だという。

「どの企業も磨きの技術を求めているが、研磨業界は、個人事業主の集まりが多く、多様な磨きや量産に対応できる会社がほとんどないんです。当社は、ロボット研磨システム一号機が導入され、三月には二号機が来ます。今では燕市だけでなく、東日本では間違いなく最先端を突き進んでいます」

同業他社に先駆けて取り組んだ結果、最先端の加工ができることはRK様のみとなり、実績も積み上がった。

「シェアビジョンにお任せして、事業再構築補助金だけでなく、ものづくり補助金も再度チャレンジしました。ロボット化がどんどん進んだおかげでお客様のニーズにもより対応できる会社になりつつあります。今後は50台、100台の導入を目指していますよ。今後も、シェアビジョンと連携しながら、ロボット化のノウハウを蓄積していき、研磨業界・中小企業を支えられればと考えています。」と、今後の展望も語っていただいた。

担当者のコメント

長年積み上げてきた研磨技術を活かして、業界全体を盛り上げていこうと考えている小林社長に、私自身も大変共感を受けました。コンサルタントとして、小林社長初め、従業員の皆さんが目指す事業計画の遂行をより加速させることが使命だと感じています。

そのためにも事業計画をブラッシュアップしながら、思い描いたビジョンの実現を支えていきたいです。

計画に要した期間：2ヶ月 投資対象：研磨ロボットシステム、遠心バレル機



有限会社RK

URL : <http://rising-knot.com/index.html>

住所：新潟県燕市小池3400番地

事業概要：金属製品の研磨(手仕上げ、自動ロボット)、溶接(TIG、半自動、スポット)、洗浄(シャワー、超音波)、検査、梱包